

ヨドコウ迎賓館100周年

ヨドコウ迎賓館 を巡る 謎と秘密

建築家フランク・ロイド・ライトによって設計されたヨドコウ迎賓館(国指定重要文化財旧山邑家住宅)は、2024年に竣工から100年を迎えました。建物の内外には、独特で不思議な装飾が各所に施されており、何度訪れても新しい発見があります。今回は、ヨドコウ迎賓館の魅力的な謎と秘密の一端をご紹介します。

問い合わせ 国際文化推進課 ☎38-2115



玄関前の水槽の秘密

現在は金魚やメダカが静かに泳ぐ水槽。建築当初、この水槽は屋上に降り注いだ雨水を集め、2つの水槽の間から滝のように流れ落ちる仕組みになっていたようです。それはまるで建物全体が秘密を囁くかのよう^{ささや}に、水音を響かせていたのでしょうか？



謎の幾何学模様の装飾

ヨドコウ迎賓館の装飾は三角形・四角形・直線などの幾何学図形の組み合わせで作られています。フランク・ロイド・ライトは自然界の形や動きを幾何学的に抽象化し、それをデザインに落とし込むという独特の手法を用いました。建物を歩くたびに、何をモチーフにしているのか、どんな意味があるのか？建物そのものがパズルのようで、訪れる人をさらなる探検へと誘います。



ワークショップ

ヨドコウ迎賓館を 探検しよう！

ヨドコウ迎賓館には、不思議なかたちの飾りやおもしろいスポットがたくさんあります。8月のワークショップでは、親子でヨドコウ迎賓館を探検し、お気に入りのスポットを見つけてみました。



ミッション 1
写真のスポットを
見つけてみよう

明るいところにある
金色の帯？



ミッション 3
見つけたスポットを
みんなに紹介しよう

どこまで続く？暗くて
長くて煙のでるところ…



ミッション 2
おもしろスポット
見つけよう

手を洗うところ
にある古い謎のマーク？

